



児童発達支援・放課後等デイサービス

ハッピースマイル

5 領域について

(放課後等デイサービス)



代表 (認定作業療法士)

鹿島 尚晃

代表 (作業療法士)

鹿島 沙也加

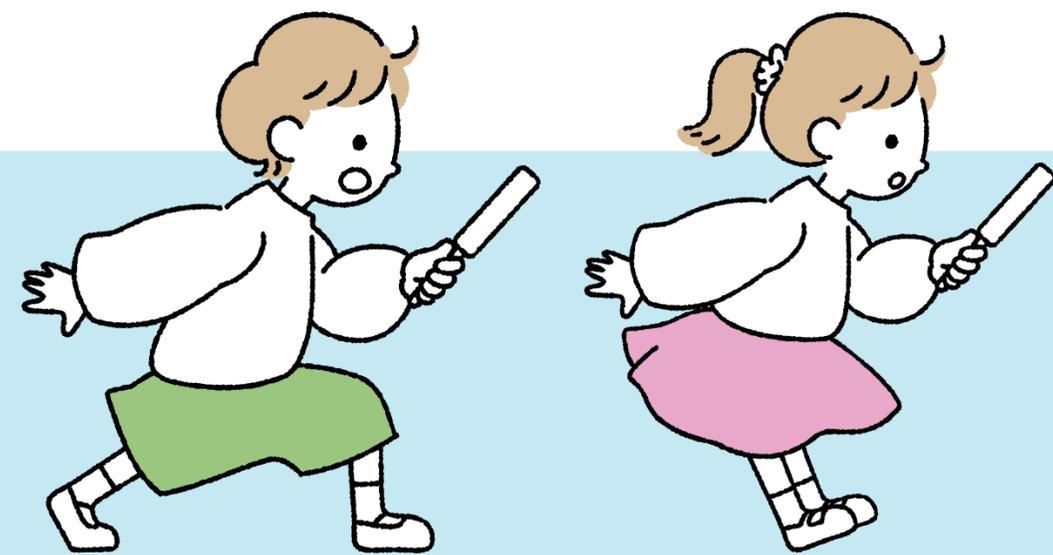




5領域とは



ハッピースマイル



5領域の種類



ハッピースマイル

- ① 「健康・生活」
- ② 「運動・感覚」
- ③ 「認知・行動」
- ④ 「言語・コミュニケーション」
- ⑤ 「人間関係・社会性」



「健康・生活」



ハッピースマイル

- (a) 健康状態の維持・改善
- (b) 生活のリズムや生活習慣の形成
- (c) 基本的な生活スキルの獲得

例えば・・・

- (a) 体調への自己管理・他者へ症状説明等の練習
- (b) スケジュール管理や生活での大切な事の学び
- (c) 自分で準備をして、自分で片付けをする大切さ

「運動・感覚」



ハッピースマイル

- (a) 姿勢と運動・動作の向上
- (b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- (c) 保有する感覚の総合的な活用

例えば・・・

- (a) 体の使い方・自己理解から安全な過ごし方の学び
- (b) 様々な道具や方法を理解し、使いこなせる練習
- (c) 感覚に対する自己理解を深め、取り入れる・避ける・
代償方法を選ぶなどを学べる環境

「認知・行動」



ハッピーマイル

- (a) 認知の発達と行動の習得
- (b) 空間・時間、数等の概念形成の習得
- (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

例えば・・・

- (a) 予後予測をして、工程を考えられる関わり
- (b) 複雑な概念を理解し、社会生活でいかせるような学び
- (c) 自分と環境を理解した上で、方法の選択が出来る学び

「言語・コミュニケーション」



ハッピースマイル

- (a) 言語の形成と活用
- (b) 言語の受容及び表出
- (c) コミュニケーション手段の選択と活用

例えば・・・

- (a) 言葉の意味・様々な使い方を学ぶ
- (b) 他者の気持ちを理解した上での会話の成り立ちを学ぶ
- (c) T・P・Oを学び、社会で困らない方法の獲得

「人間関係・社会性」



ハッピースマイル

- (a) 他者との関わり（人間関係）の形成
- (b) 自己の理解と行動の調整
- (c) 仲間づくりと集団への参加

例えば・・・

- (a) T・P・Oを学び、社会で困らない方法の獲得
- (b) 自己・他者の表情・様子を学べる環境
- (c) 仲間と共に行う経験から助け・支え合う事を学ぶ

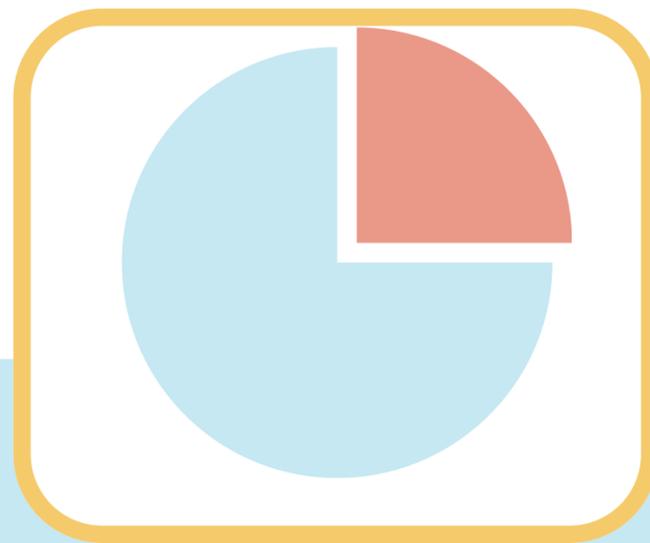
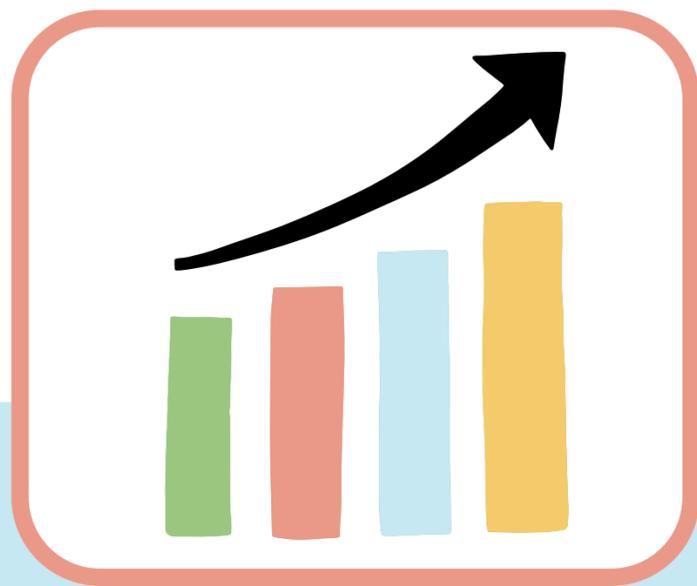
子どもの成長に大切な事



ハッピースマイル

様々な資格保持者が様々な視点で
一人一人に本気で向き合います！！

「やりたい！」 「やったー！」 「出来た！」
この言葉は子どもが成長する一番の要因です🍀



大切な事



ハッピースマイル

5領域について基本情報・アプローチ方法の一部を公表

しましたが、大切な事は

「一人一人に合わせた 環境調整・目標設定・声掛け」

一人一人をしっかりと見て、その子に合った関わりをする

からこそ

「笑顔で・楽しく・その子らしく生きる力が付きます」



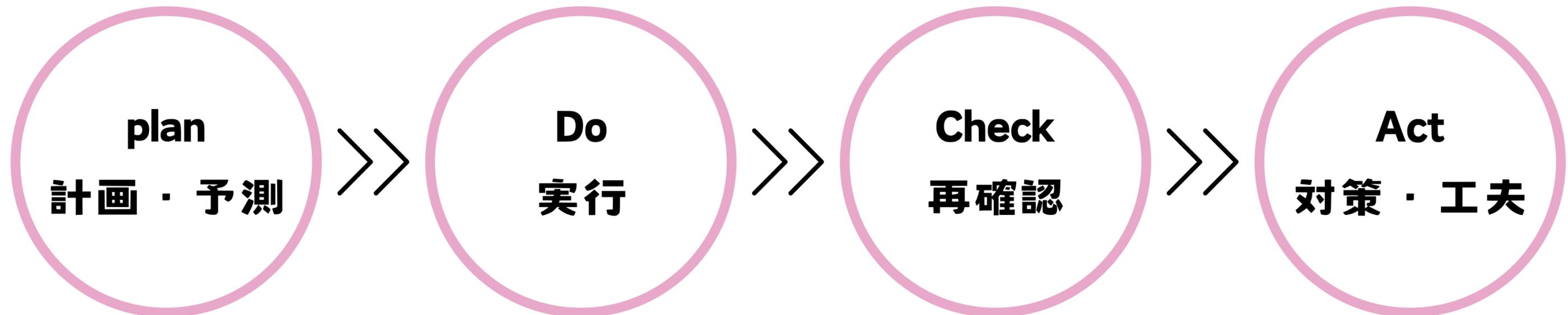
療育の考え方



子ども達は常に成長し、日常生活も日々変わっていきます。

園や学校での行事も四季折々です。

そのため、今困っている事・今後困ってしまう事をしっかりと考え、保護者様との連携を図りつつ、PDCAサイクルを常に行う事が大切です。





ありがとう
ございました!

